

## 第 1 回福井市水道事業ビジョン策定委員会の議事要旨等

### 1. 開催日時

---

令和元年 8 月 7 日（水）14 時～

### 2. 出席者

---

宇治橋委員長外委員 4 名、谷澤企業管理者、塚谷局長、竹澤次長、朝倉副理事、事務局 6 名、外関係所属長 4 名

### 3. 議事要旨

---

#### (1) 福井市水道事業ビジョン策定の趣旨と進め方

- ・ 福井市水道事業ビジョンは、将来にわたり持続可能な水道事業を運営していくため、50 年後、100 年後の将来像を見据えた水道の基本理念を掲げるとともに、今後 10 年間の目指すべき方向性やその実現方策を具体的に示した、本市水道事業の最上位計画である
- ・ 計画期間は、令和 2 年度から 10 年度までとする

#### < 主な意見 >

- ・ 年度毎の耐震化等の投資計画は載せるのか
- ・ ある程度の事業規模全体のボリュームを示すべき
- ・ 経済的なことも考慮しつつ、大きな将来予想でよいと思う

#### (2) 福井市水道事業ビジョンの内容について

- ・ 福井市水道事業ビジョンの内容について意見交換

#### < 主な意見 >

- ・ 施設の縮小はそれにより、水道事業の経営安定化が図れ、そうすることで安全な水道を確保していくことができるというプラス面を訴えるべきである
- ・ 今年 1 月に水道料金を改定したが、それでも全国の他市町に比べて安いということは示した方がよい
- ・ 受益者負担を考えてもらわないといけないということを、もう少し見据えたビジョンを作ってもよい
- ・ このままでは水道事業の体制が維持できないので、身の丈に合った水道事業をやっていかないといけない。料金や施設の状態、今後の見込みなどを、市民の皆さんに見える化すべきで、見える化があつてこそ、受益者負担についても市民に理解が得られる
- ・ 水源周辺の環境保全について、もう少し市民を巻き込んだかたちの取り組みもあるとよい
- ・ 整備から維持管理、更新の時代になると言うが、現実はずっと厳しい。施設の縮小も必要である。維持より継続という言葉がふさわしいのではないか
- ・ 安全な水道の供給を継続することが重要であり、施設を維持することではないということを、わかりやすく表現する必要がある